



令和7年度 学校経営・運営ビジョン

福島県立ふくしま新世高等学校

【教育目標】

- I 主体的に他者と協働して行動し、自らの力で未来を切り拓いていく生徒を育成します。
- II 基礎学力を身に付けた、生きる力を持った生徒を育成します。
- III 学習ニーズに応える教育活動により、社会に貢献する生徒を育成します。

《校訓》 「自立」「協働」「創造」

新たな学校づくりと生徒一人一人に寄り添った指導

校長 中村 康伸

本校は、令和4年度に福島中央高校と保原高校定時制が統合し、県北地区唯一の普通科定時制高校として開校しました。保原校舎は、令和7年3月に最後の生徒が卒業し閉校舎となりました。今までのご支援ご協力に感謝を申し上げます。両校の伝統を継承し、新たな学校づくりに邁進していきます。本校の特色である「夕間部」の設置や「三修制」により、多様な学びを展開していきます。また、教育相談の充実や個別支援教育の推進により生徒一人一人に寄り添った指導をしていきます。今後とも本校生徒が活躍し、充実した高校生活が送れるようにご支援ご協力をお願いします。

【重点目標】

学力の向上

○学習意欲の向上

- ・「できる」「わかる」という学びの楽しさを実感しながら、主体的に学習に取り組む姿勢を身に付けさせます。
- ・チームティーチングの実施により、生徒一人一人の課題やつまづきを把握して丁寧に指導します。

○基礎学力の定着と読書の推進

- ・授業展開の工夫やICTの活用により理解力を高め、学習の基礎基本となる知識や技術の定着を図ります。
- ・授業やホームルーム活動での図書館利用の促進や、教員による書籍紹介等により読書量を増やし、読み書きの力や思考力を高めます。

社会性の育成と進路希望の実現

○規範意識の向上

- ・学業と勤労の両立を推奨し、社会で必要となる規範意識や健全な生活習慣の確立を図ります。
- ・他者の尊重や多様性の理解について指導し、相手を思いやる心を育みます。
- ・スマートフォンの使用やSNSの利用に関する指導を充実し、情報モラルの向上に努めます。

○キャリア教育の充実と進路実現

- ・奉仕活動等への参加を通して、自分の力でできる社会貢献を意識し実行する姿勢を身に付けさせます。
- ・進路説明会や進路指導部からの情報提供を通して、進路意識の高揚を図ります。
- ・個別の進路希望実現に向けた就職・進学指導を充実します。

豊かな心身の育成

○コミュニケーション能力の向上

- ・クラス活動や生徒会活動等を通して、生徒間の交流を深め、コミュニケーション能力や自己肯定感を高めます。

○教育相談の充実

- ・学期ごとのクラス担任・副担任との面談を通して、生徒の悩みを的確に把握し改善に向けた指導を行います。
- ・SCやSSWによる個別面談を実施し、外部機関との連携を図ることで、生徒または家庭の支援をしていきます。

○命や食を大切にす指導の充実

- ・外部講師による講演を実施し、命と性の大切さや、犯罪被害予防の重要性について理解を深めます。
- ・家庭科の学習や食育講座、給食指導を通して、食の大切さについての理解を深め、食習慣の改善を図ります。

【ICTの活用】

1人1台端末を授業で積極的に活用します。
また、各教室に整備されたディスプレイモニターや大型提示装置等の効果的な利用を研究し、ICT活用による学びの変革に取り組みます。

【個別支援教育の推進】

多様な課題を抱える生徒への対応として、「個別支援教育コーディネーター」を配置します。個別支援計画の作成、専門機関や地域との連携強化を通して、困難を感じている生徒一人一人が必要としている支援の実現を図ります。

本校の特色

【夕間部・夜間部】

県内初となる「夕間部」を開設し、生徒の生活スタイルに応じて、学ぶ時間帯を選択できるようになりました。一日二時間の夕・夜間部合同授業による交流を通して、生活環境や進路目標の相違を尊重し、多様な他者と協働しようとする姿勢の育成を図ります。

【三修制】

通常の四年間の修業期間を一年間短縮し、三年間での卒業を目指す「三修制」を整備しました。校内の授業により卒業に必要な追加単位を修得できます。